

2006年3月16日
北海道ガス株式会社

ガス料金の値下げ および 原料費調整制度の適用廃止について

当社は、本日、北海道経済産業局長に対し、5月1日を実施日として、ガス料金の値下げと原料費調整制度の適用廃止を主な内容とする一般ガス供給約款ならびに選択約款の変更の届出を行いました。

今回の値下げにつきましては、経営効率化の成果等を踏まえ、お客さまにとってより使いやすい料金設定とすべく、全ての料金メニューを対象といたします。

ガス料金の改定率につきましては、料金メニューによって異なりますが、供給約款と選択約款をあわせた小口部門全体の平均で2.50%となります。(2006年4月時点の料金との比較)

今回は特に、賃貸マンション・アパートを中心にご利用いただいている「家庭用FF暖房・給湯契約」、ガスロードヒーティングに適用される「融雪用季節契約」、事務所や店舗のガス冷暖房等に適用される「小型空調契約」について競争力の強化を図ります。

また、今回のガス料金値下げにあたり、為替レートや原料価格の変動に応じてガス料金を調整する「原料費調整制度」の適用を廃止することといたしました。

これは、当社で1996年から進めてまいりました天然ガス転換作業が、2005年12月までに札幌・千歳・小樽地区で完了し、都市ガス原料の大部分が苫小牧市勇払地区で産出される国産天然ガスとなったことによるものです。

この制度の適用廃止により、従来4月と10月に行っておりました単位料金の見直しは行わないこととなります。

昨今は、原油価格の高騰を背景に、価格面も含めたエネルギーの安定的な供給が強く求められております。当社としましては、北海道産の天然ガスを主原料としているメリットを最大限に活かし、お客さまのご期待に応え、供給の安定性に加えて価格面でも安心してお使いいただけるよう、引き続き一層の経営効率化に努めてまいります。

なお、今回の一般ガス供給約款ならびに選択約款の変更は、札幌・函館・小樽・千歳地区を対象といたします。

<お問い合わせ>

北海道ガス株式会社 広報グループ
宮本・木村 TEL 011-207-2104

1. ガス料金の値下げについて

これまでの経営効率化の成果に加え、今回新たに作成した経営効率化目標を踏まえ、供給約款料金と選択約款料金をあわせた小口全体のガス料金を、現行()に比べ平均2.50%値下げいたします。

なお、今回の値下げにつきましては、ガス料金の原価の見直しを行う方式によることとし、実施日は2006年5月1日といたします。

(2006年4月時点。以下同じ。)

小口部門平均単価 (46.04655MJ、税抜き)

	新料金	現行料金	改定率
小口部門平均 (円/m ³)	150.421円	154.284円	2.50%

(1) 供給約款の変更

変更後の供給約款料金は以下の通りです。

平均単価 (46.04655MJ、税抜き)

	新料金	現行料金	改定率
供給約款平均 (円/m ³)	227.046円	230.046円	1.30%

新供給約款料金表 (46.04655MJ)

	月間ご使用量	基本料金	単位料金 (1m ³ 当たり)
料金表A	0m ³ から18m ³ まで	903.00円 (税込)	196.4130円 (税込)
		860円 (税抜)	187.06円 (税抜)
料金表B	18m ³ を超え136m ³ まで	1,279.95円 (税込)	175.4760円 (税込)
		1,219円 (税抜)	167.12円 (税抜)
料金表C	136m ³ を超える場合	2,612.40円 (税込)	165.6795円 (税込)
		2,488円 (税抜)	157.79円 (税抜)

(注) 各月のご使用量に応じて、A～Cの各料金が適用されます。

標準家庭における値下げ額 (46.04655MJ)

年間ガスご使用量	年間お支払額 (税込)		値下げ額	値下げ率
	新料金	現行料金		
324m ³	72,204円	73,224円	1,020円	1.39%

標準家庭：所有機器 (ガステーブル/小型湯沸器/ガス風呂釜)

(2) 選択約款の変更

選択約款について、全ての料金メニューの値下げを行います。今回特に競争力の強化を図った料金メニューのモデルケースによる値下げ額は以下の通りです。

家庭用 F F 暖房・給湯契約

年間ガスご使用量	年間お支払額（税込）		値下げ額	値下げ率
	新料金	現行料金		
570m ³	100,303円	106,449円	6,146円	5.77%

ガス使用量は、46.04655MJ の場合
F F 暖房機と給湯器をお使いのモデルケース

融雪用季節契約

年間ガスご使用量	年間お支払額（税込）		値下げ額	値下げ率
	新料金	現行料金		
540m ³ (*1)	55,569円	62,715円	7,146円	11.39%
10,800m ³ (*2)	936,305円	1,079,190円	142,885円	13.24%

ガス使用量は、46.04655MJ の場合
(*1) ご家庭等でお使いいただく融雪面積30m²のモデルケース
(*2) 集合住宅や業務用施設の駐車場等でお使いいただく融雪面積600m²のモデルケース

小型空調契約

年間ガスご使用量	年間お支払額（税込）		値下げ額	値下げ率
	新料金	現行料金		
16,700m ³	1,778,628円	1,928,376円	149,748円	7.77%

ガス使用量は、46.04655MJ の場合
延べ床面積1,500m²の事務所のモデルケース

2 . 原料費調整制度の適用廃止について

「原料費調整制度」とは、為替レートや原料価格の変動等による原料費の変動を、速やかにガス料金に反映する仕組みです。

当社では1996年より行ってまいりました天然ガス転換の進捗により原料の大部分が国産天然ガスとなりましたことから、今回のガス料金の値下げに際して「原料費調整制度」の適用を廃止することといたしました。

この制度の適用廃止により、従来4月と10月に行っておりました単位料金の見直しは行わないこととなります。

今後の経営効率化の取り組み

当社は本日、2006年5月1日を実施日とする一般ガス供給約款の変更届出を行いました。これにあわせて、2006年度から2008年度を対象とした新たな経営効率化目標を策定いたしましたので、ご報告申し上げます。

1. 財務体質の強化

財務体質強化の観点から有利子負債の削減に取り組んでまいりましたが、今後も更なる削減を図ってまいります。

具体的には、2006年度から2008年度までの3か年で有利子負債を30億円削減いたします。

2. サービス・保安の向上

(1) お客さまサービスの向上

お客さまの『声』をもとに、CS向上への取り組みの更なる充実を図り、より一層のお客さまサービス向上に努めてまいります。

(2) 保安の充実・強化

これまで同様、経年管対策をお客さま保安の主要政策と位置づけ、埋設環境等を考慮した効率的な入替を進めてまいります。また、地震に強いポリエチレン管への入替を計画的に実施するとともに、地震による被害の最小化と二次災害を防止するための取り組みを推進してまいります。

3. 環境保全への対応

環境負荷低減に寄与する天然ガスの普及拡大に努めるとともに、コージェネレーションシステム等の高効率機器の普及促進に努めてまいります。

以上